

衆議院議長  
参議院議長

## 国に対し大飯原発3・4号機の即時停止と 原発ゼロ・自然エネルギー推進に 全力をあげることを求める請願署名

2011年3月に発生した福島第1原発の事故は、原発がいったん苛酷事故を起こせば制御できない大事故になること、また使用済み核燃料の最終処理方法がないという“未完成の技術”であることを明らかにしました。福島第一原発の事故以来、“原発なくせ”の声が国民の中に大きく広がり、ドイツ、スイス、イタリアなど世界にも広がっています。

福島原発事故の真相は、放射能が強すぎて中にも入れず、今だ未解明の状態です。避難者の生活も全く目途が立っていません。放射性廃棄物がどんなに危険なものであるかは福島原発事故で実証されましたが、そんな危険な放射性廃棄物の管理を何万年、何十万年も後世の人たちにさせる権利は誰にもありません。加えて、この夏の電力需給の実績は、原発依存度の一番高かった関西電力管内含めて全国全ての地域で、原発なしでも電力は十分足りたことを実証しました。

政府の「2030年代に原発稼働ゼロを可能にするよう、あらゆる政策資源を投入する」などと言うのは、原発ゼロどころか原発依存政策を継続するまやかし方針であって、絶対許されるものではありません。

私たちは、子どもたちに“負の遺産”を残さないためにも、以下の事を請願します。

1. 政府は関西電力の大飯原発3・4号機の再稼働容認を撤回し即時停止すること。また、現在停止中の原発はいっさい再稼働せず、廃炉にすること。
2. 政府は脱原発・自然エネルギー推進を決断し、原発からの即時撤退と自然エネルギーへの政策転換を強力に推し進めること。

氏 名	住 所

取り扱い団体

